

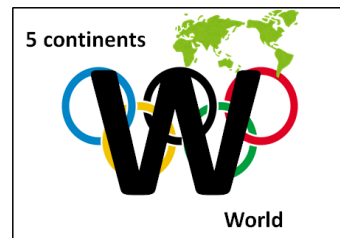
1 テーマ 『かかわり』を大切にし、思いを伝え合う意欲を高めるコミュニケーション活動の充実

2 活動内容

(1) 5年生 **Lesson5「オリジナルフラッグを作ろう What do you want?」** 全5時間

① 導入

- 世界の国々の国旗、その色や形に込められた意味を知り、興味をもつ。
例) フランス国旗 : 青【自由】、白【平等】、赤【博愛】
オリンピックの旗: 5輪【5大陸】、配置【worldのW、友愛と親交】
- 色探しやキーワードゲームなどで、色や形の言い方に慣れ親しむ。
- 担任のオリジナルフラッグ作成の様子を見たり、紹介を聞いたりして、活動への動機付けをする。



【提示したパワーポイント資料】

② コミュニケーション活動と活動充実のための工夫

- オリジナルフラッグを作るコミュニケーション活動を①自分のオリジナルフラッグ、②友達のためのオリジナルフラッグ、③学級のオリジナルフラッグと、目的意識を変えて3回行った。
- フラッグに使う色と形はそれぞれ5種類とした。伝え合う意欲を高めるために、色については、各色に込める意味(大切にしたいこと)を学級で話し合っ決めて。
5の1版: yellow=hope(希望)、red=friendship(友情)、white=life(生命)、blue=peace(平和)、purple=challenge(挑戦)

- 欲しい色や形を聞いたり、伝えたりする必要感をもたせるために、お店屋さん形式の活動とした。1つの店でもらえるパーツは1つだけというルールにし、できるだけ多くの相手とかかわることができるようにした。
- 相手意識を高めるために、友達の旗を作る際は、相手の欲しい色や形をインタビューしてから、希望に沿う旗を作るようにした。
- 自分の作った旗の裏には、旗に込めた思いを書き、友達のために作った旗にはメッセージを添えて渡した。思いを込めて作った旗を紹介したい、旗を作ってもらってうれしいという思いを高めるようにした。
- 終末には、人気の高かった色と形を取り入れて学級のオリジナルフラッグを作る活動を設定し、オリジナルフラッグを Show & Tell で紹介する必要感をもたせた。その際、ペア交流で紹介の仕方に十分に慣れ親しませるようにし、安心して Show & Tell を行えるようにした。



【写真 お店屋さん形式での活動の様子】



【写真 オリジナルフラッグ紹介の様子】

(2) 5年生 **Lesson6「宝物ブックを作ろう What's this?」** 全5時間

① 導入

- 担任の宝物紹介クイズに答えたり、先生宝物ブックを見たりして、活動への動機付けをする。
- ポインティングゲームやチャンツをして、身の回りの物の言い方を知り、日本語と英語の共通点や相違点に気付く。
- チャンツやキーワードゲーム、スラップカードゲームをし、単語や表現に慣れ親しむ。
- 様々な教師の宝物クイズに答えたり、教師の宝物ブックの制作過程を見たりして、宝物紹介や宝物ブック作りに意欲をもつ。

② コミュニケーション活動と活動の充実のための工夫

- ・ 思いや必要感をもってかかわることができるよう、「大切にしているものをクイズにして紹介し合い、宝物ブックを作る」というコミュニケーション活動を設定した。自信をもって活動を行うことができるよう、終末の2時間に分けて活動を行い、1回目の活動の課題を2回目に生かすようにした。
- ・ 友達とのかかわりを形に残して達成感を味わったり、多くの友達とのかかわる意欲を高めたりするために、宝物ブックの形式を工夫した。まず、自分の宝物の絵をミニカードにかき、クイズ後に渡すようにした。そして、受け取ったカードを貼るシートを5種類（5大陸）用意し、増やしていけるようにした。最後に集まったシートを1冊の本にまとめた。
- ・ コミュニケーションを楽しむとともに、より自然なかかわり合いにするために、主なフレーズ以外のフレーズもナチュラルフレーズと名付けて導入した。



【写真 ペアで宝物クイズを行う様子】

ア	交流の前後	Hello. Thank you. See you.	握手、ハイタッチ
イ	ほめるとき	That's right. Wonderful! Nice quiz.	
ウ	分からないとき	I don't know. Hint, please. One more.	
エ	励ますとき	Don't mind. Don't worry. You can do it. Close.	
オ	その他	Here you are. You are welcome. OK. Join us.	



【活用したトレジャーマップシート】

3 成果・課題

(1) 成果

- ・ コミュニケーション活動を工夫し、また、単元を貫く活動になるような単元構想にしたことで、子供たちは導入から終末まで意欲的に取り組み、友達とのかかわりを楽しむことができた。
- ・ 伝え合う内容を単なる情報ではなく、思いを込めたものにしたことで、伝えたい、聞きたいという意欲を高めることができた。また、相互理解を深めることにもつながった。
- ・ 活動形態、カードやシートを工夫したことで、普段あまり関わらない友達とのかかわりが生まれ、伝わった達成感を味わったりすることができた。
- ・ 子供の振り返りの記述にも、コミュニケーション活動が充実し、友達とのかかわりを楽しみ、思いを伝え合う意欲が高められたという成果が表れていた。

子供の振り返りより（④Lesson4 オリジナルフラッグ ⑤Lesson5 宝物ブック）

- ④ 思いをいっぱい込めたオリジナルフラッグだから大切にしたい。
- ④ 自分で英語を言ってパーツを集め、よく考えて作って、素敵なフラッグになってよかった。
- ④ 友達が私の希望通りにフラッグを作ってくれて、うれしかった。
- ④ 友達の希望を聞き、希望通りに作ったので、気に入ってくれるといい。
- ④ 平和な国で、友情を深め、生命を大切にしたいという思いを込めて友達のためにフラッグを作った。渡したら喜んでくれて、うれしかった。
- ④ 自分たちで世界に一つだけのフラッグをつくり、すごくよかった。平和、挑戦、希望の意味を込め、自分たち28人を星にして入れて、いいものになった。
- ⑤ 普段あまり話さない人と仲良くなり、今まで仲が良かった子とはもっと仲が深まった。
- ⑤ 自分の宝物を必死に友達に伝えようとしていることが伝わってきた。自分と違う宝物があることは個性だと思い、人はおもしろいなと感じた。
- ⑤ 英語でのコミュニケーションは難しいけれど、伝わったときのうれしさはその分大きかった。
- ⑤ 相手を思い、ヒントを考えた。声やジェスチャーを大きくすると分かりやすくなった。
- ⑤ ただ伝え合うだけでなく、外国語で相手のことが分かり、楽しみながら学習できた。

(2) 課題

- ・ 伝え合う意欲を高めるために一人一人に合わせた内容にしたため、フレーズや語彙が増え、難しさを感じる子もいた。使用語彙や活動設定を吟味し、どの子も抵抗なく楽しめるようにしたい。
- ・ 教材を工夫することは効果があったが、教材準備の負担が大きく、子供が作る時間の設定も難しかった。簡単で効果的なもの、交流しながら作る形式のものなどを今後考え出していきたい。